

探究・校務改革  
支援補助金  
2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

# 効果報告レポート

【事業者名】

東京書籍株式会社

【サービス名称】

みんなにもっとNIMOT!

【サービスの支援項目】

カテゴリー1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



## 1. サービスの概要、特徴

動画やシミュレーション、プリントなどをはじめとした、小・中学校のあらゆる教科のコンテンツを配信するサービスです。

探究学習での活用はもちろん、朝学習や授業の隙間時間などで日常的にお使いいただけます。

### (1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・多数のコンテンツが1パッケージになっているため、いろいろなアプリやコンテンツを導入する必要が無い。
- ・全教科がデジタル教科書と連携しており、授業の予習・復習から発展的な学びにも活用できる。

### (2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・朝学習や授業内での課題が終わった後の隙間時間に活用が出来るコンテンツが多い。
- ・子どもたちがインターネット上に無数にある情報ではなく、教科書発行者が提供する信頼のおけるコンテンツ内から情報を得ることが出来る。

### (3) サービスの活用場面

- ・朝学習、学校での自習時間、調べ学習、探究学習、自宅での予習・復習

#### (4) 1サービスあたりの標準販売価格

- ・児童生徒1人当たり1年間1,650円(税込み)

※上記販売価格に設定作業費や、コンテンツを利用する際に発生する通信費は含まれません。

#### 2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

- ・サービス利用者限定のサポートサイト

各種マニュアルのご提供とチャットボットによるお問い合わせ対応

- ・ユーザーから直接お問い合わせいただけるコールセンターとお問い合わせフォーム

コールセンター(受付時間:9:00~17:30/月曜~金曜、祝日・年末年始を除く)

お問い合わせフォーム(24時間受付 <https://www.tokyo-shoseki.co.jp/customer/>)

- ・(ご要望に応じて)各種研修会の実施

対面・リモート・校内研修・自治体一括研修

基礎操作研修・具体的な活用場面のご提案・先行導入校での実践事例のご紹介

学校等教育機関の抱える情報の信頼性や探究学習へのきっかけづくり、日ごろから活用できるような、子どもたちが主体的に学べるコンテンツの不足といった課題に対し、教科書発行者の提供する教材のデータベースを提供することにより解決を図ります。

## 児童生徒・教職員が抱える課題

- ・インターネット上の膨大な情報の中から、安全で適切なサイトを使用させることが困難である。
- ・子どもたちが自ら課題を見つけ、問いを立てることができない。
- ・子どもたちが自主的に復習に取り組むことのできるコンテンツがほしい。
- ・課題が早く終わった後など、隙間時間に子どもたちに取り組みさせるものが欲しい。

## サービスが果たす役割

- ・教科書発行者の提供する8,000以上のコンテンツから、信頼のおける確かな情報を得ることができる。
- ・教科書の内容に沿った、子どもたちの身近な疑問をショート動画にし、日替わりで配信をすることにより、子どもたちが問いを立てる際の助けになる。
- ・教科書での学習をベースに内容を発展させたコンテンツで、学校での学習と普段の生活や将来とのつながりをより意識することができ、学習への意欲を喚起する。
- ・デジタル教科書で開いているページから関連コンテンツへ直接リンクすることで、授業内の隙間時間での活用を促進する。

サービスの活用風景・授業の流れ

NIMOT!のある一日

①



朝学習

- ・英語チャンツの動画
- ・タイピング
- ・毎日配信コンテンツ

②



授業中

- ・単元まとめ動画
- ・デジタルドリル
- ・プリント教材

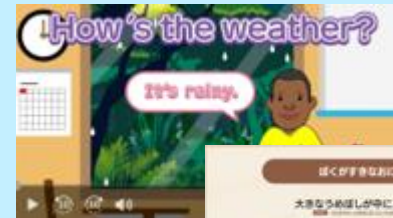
③



家庭学習

- ・単元まとめ動画
- ・デジタルドリル
- ・プリント教材

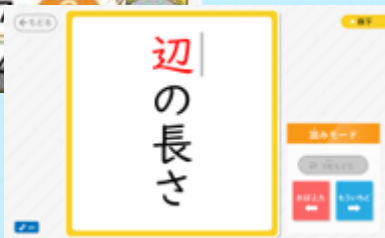
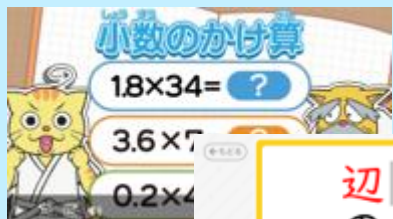
① 朝学習



課題:子どもたちが自ら課題を見つけ、問いを立てることができない など

- ・子どもたちが自分で選んで英語の動画を見て学習しています。(茨城県土浦市など)
- ・キーボード練習も活用しています。(岡山県久米南町など)
- ・『きょうはどんな日』発表に係活動にしています。(茨城県土浦市など)

② 授業中



課題:隙間時間に子どもたちに取り組ませるものが欲しい など

- ・数学の授業の最後に単元のまとめ動画を見せました。(大阪府摂津市など)
- ・授業の隙間時間にドリルに取り組みせました。(北海道栗山町など)

③ 家庭学習



課題:子どもたちが自主的に復習に取り組めるコンテンツがほしい など

- ・標準学力テストの誤答に合った問題を家庭学習で取り組みました。(茨城県土浦市など)
- ・夏休みなどの長期休暇中に苦手教科や苦手分野を中心に復習に活用させました。(岡山県久米南町など)

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	16自治体	学校等教育機関数	123校
--------	-------	----------	------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	伯耆町教育委員会	伯耆町立岸本小学校 他5校	鳥取県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
2	三原市教育委員会	三原市立三原小学校 他29校	広島県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
3	富谷市教育委員会	富谷市立富谷小学校 他12校	宮城県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
4	大和町教育委員会	大和町立鶴巣小学校 他6校	宮城県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
5	栗山町教育委員会	栗山町立角田小学校 他3校	北海道	小学校 中学校	1～6年 1～3年	国語・社会・総合・家庭学習
6	比布町教育委員会	比布町立比布中央学校	北海道	義務教育 学校	1～9年	総合・家庭学習
7	由仁町教育委員会	由仁町立由仁小学校 他1校	北海道	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
8	標茶町教育委員会	標茶町立磯分内小学校 他7校	北海道	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
9	久米南町教育委員会	久米南町立弓削小学校 他3校	岡山県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	16自治体	学校等教育機関数	123校
--------	-------	----------	------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
10	飯南町教育委員会	飯南町立頓原小学校 他5校	島根県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
11	古殿町教育委員会	古殿町立古殿小学校 他1校	福島県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
12	矢吹町教育委員会	矢吹町立矢吹小学校 他4校	福島県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	算数・総合・家庭学習
13	土浦市教育委員会	土浦市立土浦小学校 他22校	茨城県	小学校 中学校	3～6年 1～3年	英語・総合・朝学習・家庭学習
14	日野町教育委員会	日野町立日野学園	鳥取県	義務教育 学校	1～9年	総合・家庭学習
15	阿智村教育委員会	阿智村立阿智第一小学校 他5校	長野県	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習
16	摂津市教育委員会	摂津市立第一中学校 他4校	大阪府	小学校 中学校	1～6年 1～3年	総合・家庭学習

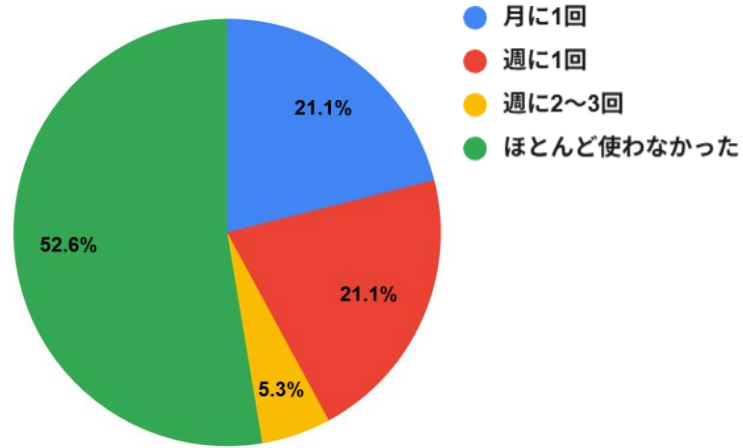
# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定量的効果検証

※アンケート回答者はサービス導入校の先生

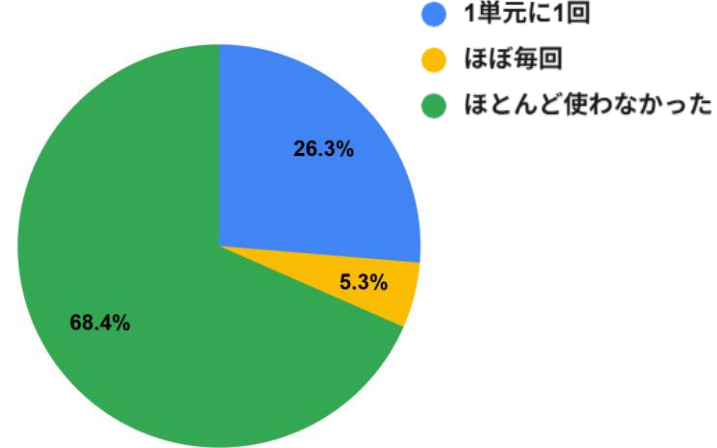
Q.授業の中でNIMOT!をどの程度使用しましたか？  
一番近いものを選んでください。

回答者数19件

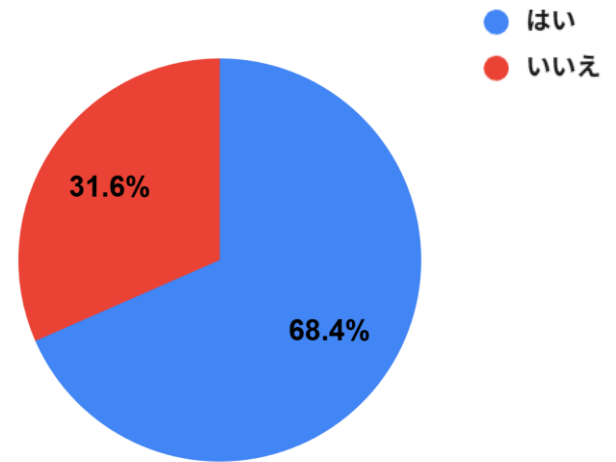


Q.探究学習の時間でNIMOT!をどの程度使用しましたか？一番近いものを選んでください。

回答者数19件



Q.家庭学習等、授業時間外で使用しましたか？  
回答者数19件



「探究学習」での活用よりも、通常の教科学習での利用や家庭学習等の個別学習での活用が多くなった。

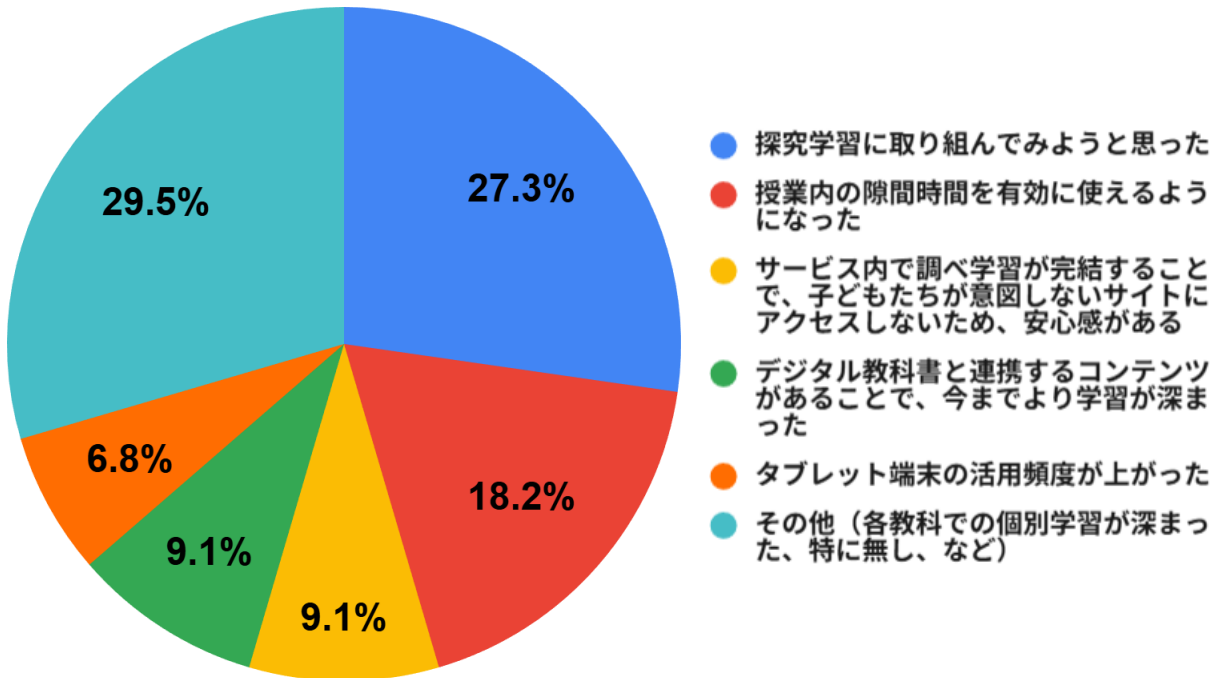
→利用者が「探究学習」での利用場面をイメージできるような活用例やプログラムの提供を合わせて行うことが求められる。

# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定性的効果検証

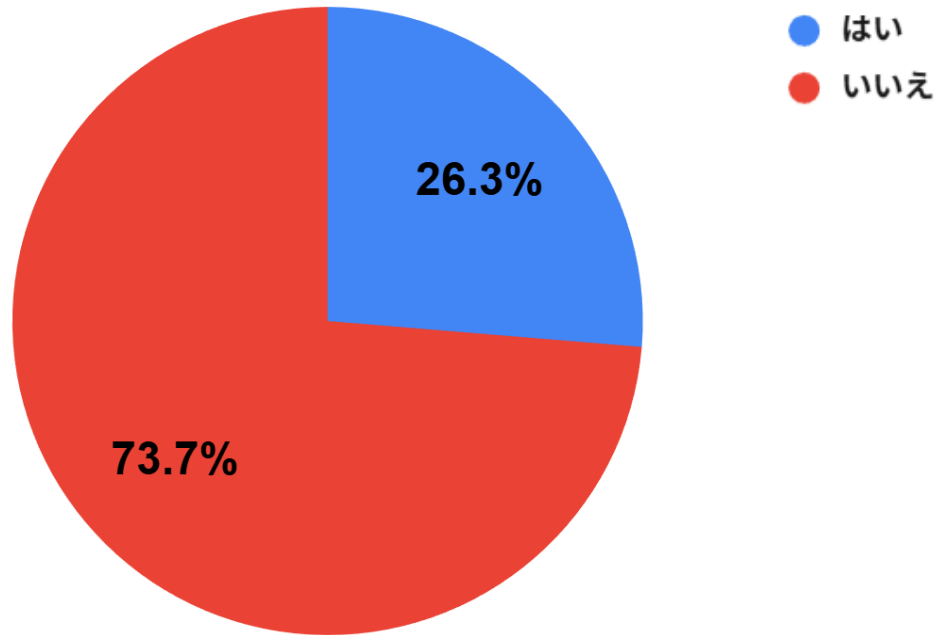
※アンケート回答者はサービス導入校の先生

Q.次の項目の中でNIMOT!の導入によって効果があったと感じるものを選んでください。回答者数41件(複数選択)



約7割の先生がこちらで想定していた課題の解決に役立つと回答。

Q.使用方法について、先生から子どもたちに何か指示を出しましたか？ 回答者数19件



約7割の先生が指示を出していないと回答。

→子どもたちが自主的に学習を深めている。

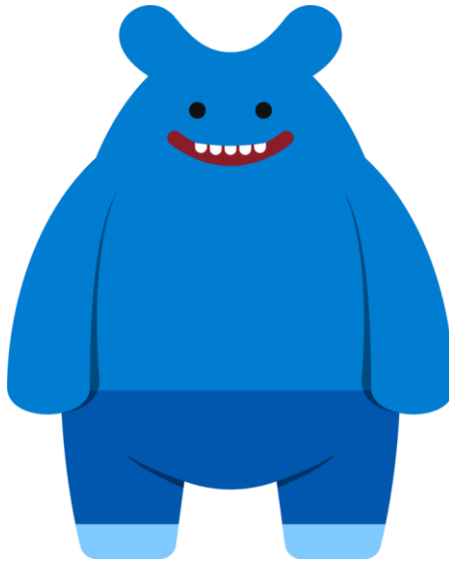
児童・生徒



・探究学習が楽しくなった！（北海道標茶町など）  
・授業に関心が持てるようになった！（宮城県富谷市など）

・子どもの方からNIMOT!を使って良いか聞かれるようになった！（茨城県土浦市など）  
・授業で使う教材、資料の選択の幅が増えた！（宮城県富谷市など）  
・デジタル教科書との連携が使いやすかった！（福島県矢吹町など）  
・家庭学習でのタブレット活用の幅が広がった！（大阪府摂津市など）  
・普段からICT機器を使って授業をしているが、より頻繁にICT機器を使うようになった！（長野県阿智村など）

先生



利用者の裁量に任せる部分が多いサービスのため、効果的な使用方法やプログラムを合わせて提供する必要があると感じた。合わせて、子どもが主体的に利用するサービスについても、教職員からの指導が前提にあるという状況を想定した運用方法をメーカー側で整備しておく必要がある。

### 直面した課題

- ・児童生徒が自分のペースで個々に学習を深めることができるというコンセプトのサービスではあったが、家庭学習時等、指導者が直接利用場面を把握できない部分での活用が主となり、指導者側でサービス導入による直接的な効果を感じにくかった。
- ・探究学習での活用に行きつかず、通常の教科学習での利用に留まるケースが多かった。
- ・補助対象となるのが「児童生徒を対象とした」サービスであったため、指導者向けにライセンスを発行できず、教職員が内容を確認し、児童生徒にどう使わせていくかの検討ができなかった。

### 解決するための改善策

- ・指導者がサービス導入の利用状況を詳細に確認できるように、学校全体での学習（視聴）履歴だけでなく、児童生徒個々の学習（視聴）履歴を確認できるようなシステムへの変更を検討する。
- ・各教科における探究学習としての活用例の提供や、探究学習プログラム作成自体を支援する企業とコンソーシアムを組んで提案ができるような環境を整える方法も検討する。
- ・教職員が児童生徒と一緒に取り組めるという視点をもって、メーカー側でも環境整備を行う。

## ■会社概要

社名	東京書籍株式会社
代表	渡辺 能理夫
設立年月	1909年
本社	東京都北区堀船2-17-1
資本金等	8,000万円
売上金等	330億円(2024年8月期)
従業員数	500名
事業内容	小・中・高等学校教科書、小・中・高等学校教師用指導書、学習教材／指導用教材／学習参考書、教育用デジタルコンテンツ(デジタル教科書等)、インターネットサービス(教育総合ポータルサイトの運営等)、学力調査／体力調査、校務支援システム、辞・事典、一般書籍、日本語検定関連業務、海外事業

## ■お問い合わせ窓口

担当:飯沼・宮下

電話:03-5390-7441

Mail:soft@tokyo-shoseki.co.jp